

なんケア通信

第19回 南部圏域の地域包括ケアを考える会(なんケアの会)を開催しました。

開催日時：平成31年2月8日(金) 18:00~19:15

会場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」 2階 地域文化ホール

参加者：42名(介護事業所関係者 24名、地域包括支援センター 3名、福祉用具事業所2名、御野場病院職員 13名)



演 題

『HOT(在宅酸素療法)基礎の基礎!』 ～ HOTとは?から始まるミニ講座 ～

PHILIPS 秋田営業所 齋藤 丈晃 様

『在宅酸素療法HOTの事例紹介』 ～ 基礎から学ぶ酸素療法 ～

御野場病院 理事長 皆河 崇志 様

平成31年2月8日(金)に「第19回なんケアの会」を開催致しました。今回のテーマは「在宅酸素療法について」です。

初めに、PHILIPS(フィリップス)秋田営業所 齋藤丈晃 様から「HOT(在宅酸素療法)基礎の基礎!～HOTとは?から始まるミニ講座」について、ご講演頂きました。HOTを導入する際の手順、使用方法、注意事項、緊急時の対応、外出・旅行時、停電時や災害時の対応について、近年の動向も合わせて丁寧にご説明いただきました。利用するご本人・ご家族の生活や行動範囲、そして生きがいを理解した上で、機器の配置や選定を行っていく必要があること、また酸素量の管理や急変時の対応、注意事項の徹底をご本人・ご家族と共に在宅医療福祉チームで共通認識を持ち綿密な連携をとっていく重要性を感じました。

続いて当院理事長の皆河崇志医師が「当院における在宅酸素療法の実状と事例紹介」について講演を担当しました。「肺：気管～肺胞の基礎知識」について説明後、複数の事例について診断から在宅酸素導入までの過程とその後の経過についてご紹介され、在宅酸素の今後の更なる普及への示唆についてお話されました。

現在日本では約15万人以上の方が在宅酸素療法を実施しながらご自宅で生活されているとのことです。改めて、今後、地域包括ケアシステムの充実にむけて裾野を広げた支援体制の構築が求められることを実感致しました。

フィリップス様より在宅酸素機器を展示していただき、講演終了後も有意義な意見交換がなされておりました。

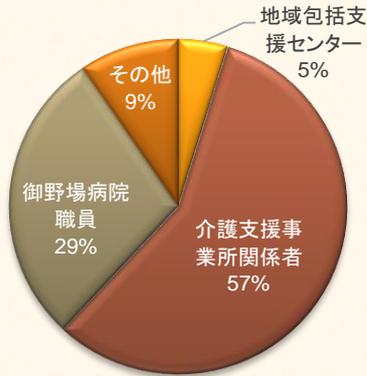
参加された皆さまからは、「詳しい説明や事例もあり、今後の業務に活かすことが出来ると思います」「HOTの機器をみることができよかった。画像を見ながらの説明であり、わかりやすかった。」とのご感想もいただきました。

次回は公開講演会を予定しております。今後ともご指導ご支援頂きますようお願い致します。

アンケートの
集計結果

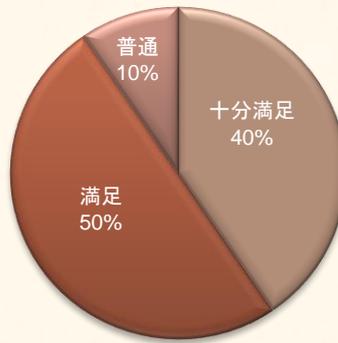


所属



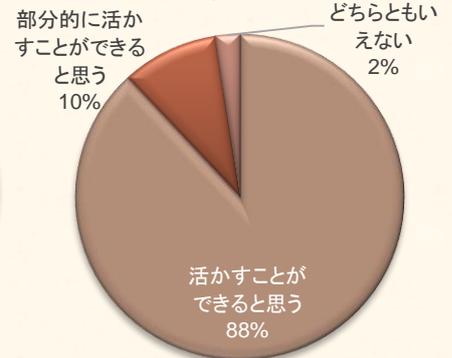
- 地域包括支援センター
- 介護支援事業所関係者
- 医療機関関係者
- 調剤薬局
- 御野場病院職員
- その他

なんケアの会に参加して、
いかがでしたか？



- 十分満足
- 満足
- 普通

今後、地域での活動に
活かすことができそう
ですか？



- 活かすことができると思う
- 部分的に活かすことができると思う
- どちらともいえない

回収率：100%（アンケート配布：42名、回収：42名）

会場の様子
と
皆様からの
ご意見・ご感想



HOTについての研修に初めて参加
させて頂きました。大変勉強になり
ました。

地域包括支援センター



HOTの機器をみることができ
てよかった。画像を見ながらの
説明であり、わかりやすかった。

御野場病院職員

詳しい説明や事例もあり、今後の
業務に活かすことができると思
います。

介護支援事業所関係者

大変勉強になりました。今後
も参加させて頂きます。

福祉用具貸与事業所

次回開催の
お知らせ

開催日時：平成31年4月5日（金） 18:00～19:15
会 場：南部市民サービスセンター「なんぴあ」2階 地域文化ホール

